

令和４年度 第１回 大井川水系流域委員会 説明資料

令和４年１０月２１日

国土交通省 中部地方整備局
静岡河川事務所

目次

1. 前回委員会の指摘事項とその対応について 2
2. 令和4年9月23日～24日の
台風15号による安倍川・大井川流域の出水状況について 6
3. 大井川水系流域治水プロジェクトについて 14
4. 中島・川尻防災ステーション完成式
蓬萊橋897.4（やくなし）広場オープニングセレモニー
長島ダム管理所・「ダムの駅」長島ダムふれあい館20周年記念式典 . . . 20
5. 今後の進め方について 24

1. 前回委員会の指摘事項とその対応について

(1) 前回(R3.10.1)の委員会における主な指摘事項とその対応

No.	分類	意見内容	対応
1	R3出水について	・大井川は中小洪水でも河岸侵食の被害がでることから、これを見越した侵食対策を踏まえた管理をしていただきたい	・引き続き侵食対策事業を進めていく予定である(P4)
2	事前放流について	・電力事業者に協力を求めるには、事前放流の定量的な効果を示す必要がある ・事前放流の実施手順が決まっていれば簡単に示していただきたい	・事前放流実施のフローを示すとともに、効果量について説明する。(P5)
3	直轄河川改修事業について	・加速化5ヶ年計画の内容について教えていただきたい	・加速化計画は、流域治水プロジェクトの短期整備メニューとして実施する予定である(P18参照)
4	直轄河川改修事業について	・河道改修、樹木伐採を実施する際は、生物保全に配慮した対策を実施していただきたい ・低水護岸整備についても、水生生物の環境変化がないように配慮してほしい	・頂いた意見を踏まえ、河道改修の際は環境に配慮した工事を実施する

(2) 指摘に対する対応状況

指摘内容①

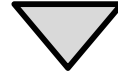
- 大井川は中小洪水でも河岸侵食の被害がでることから、これを見越した侵食対策を踏まえた管理をしていただきたい。

対 応

- 河岸侵食の要因は、上流からの土砂供給の減少に伴う砂州の固定化が要因であると考えられる。
- 河岸侵食対策として、砂州管理が重要であることが確認できたことから、試験施工を実施しながらモニタリングにより効果を確認し、大井川での砂州管理手法を維持管理計画へ位置づけていく方針である。

大井川の河岸侵食の課題については、上流からの土砂供給の減少に伴う砂州の固定化が要因である。

砂州の固定化は、樹林化しやすい河道となり、これを放置した場合、流下能力の阻害、並びに河岸侵食等により破堤等につながるおそれがある。

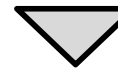


【対策工】

- 大井川では概ね全区間に低水護岸が整備されているが、必要な根入れが確保されていない区間が多く、大井川の特長として流路が変遷するため河川全区間において被災の可能性が高いため整備を行う
- 整備については、現地の施設状況及びシミュレーションによる危険箇所の抽出から、被災の危険性が高い一連の区間から優先的に順次実施

【砂州管理】

- 砂州の発達・固定化により偏流が生じ、水衝部となっている場合には、砂州の部分掘削による対策が効果的であることを平面二次元解析により確認した
- 掘削の際には、掘削による流況の変化を考慮し、掘削箇所だけでなく周辺への影響が少ない掘削範囲を適宜設定することが必要である
- 一方で、砂州の側方侵食による侵食は再繁茂にはつながらないという研究成果(溝口教授研究成果)を参考に、掘削した砂州の土砂を適切に配置することで砂州内の樹木繁茂を抑制する手法も考えられる。



大井川では、侵食の危険性を抑える砂州管理は重要な対策である。

砂州管理にあつては、河床変動モデルで砂州形状の設定を行い、試験施工を実施。

モニタリングにより効果を確認し、**大井川での砂州管理手法を維持管理計画へ位置づける。**

(2) 指摘に対する対応状況

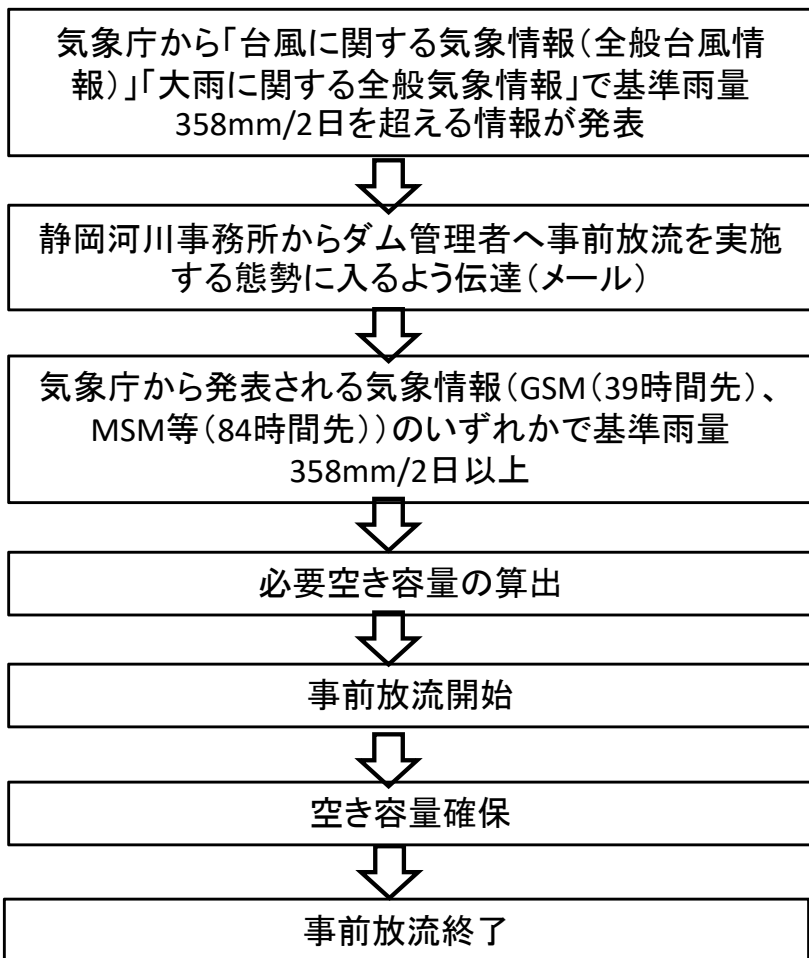
指摘内容②

- 電力事業者に協力を求めるには、事前放流の定量的な効果を示す必要がある。
- 事前放流の実施手順が決まっていれば簡単に示していただきたい。

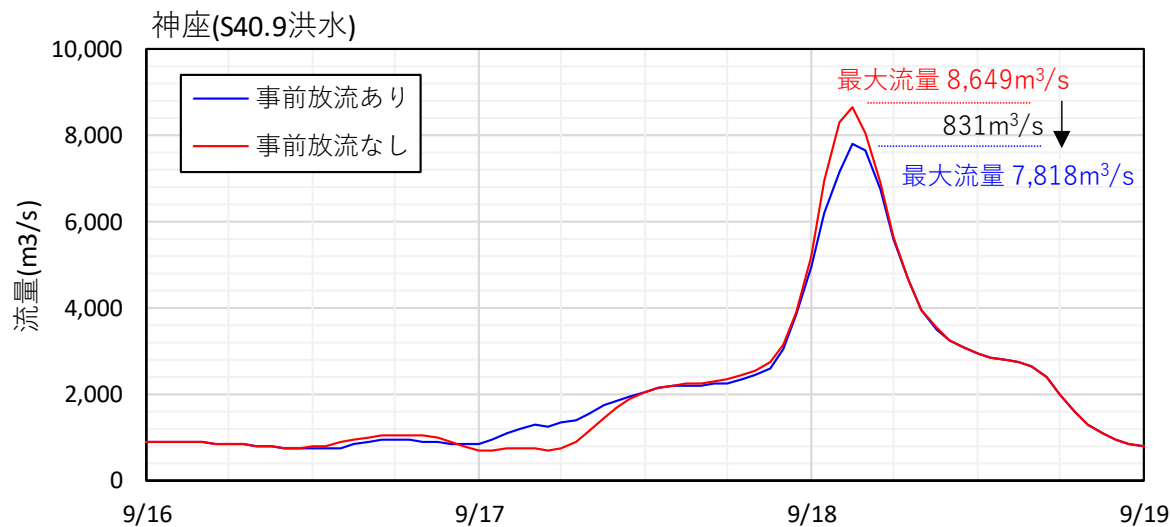
対応

- 事前放流については、以下に示すフローでダム管理者と実施する方針である。
- 事前放流の効果としては、整備計画目標流量(S40.9洪水)に対し、神座地点で約830m³/sの流量低減効果を見込んでいる。

大井川水系事前放流実施フロー



事前放流の効果



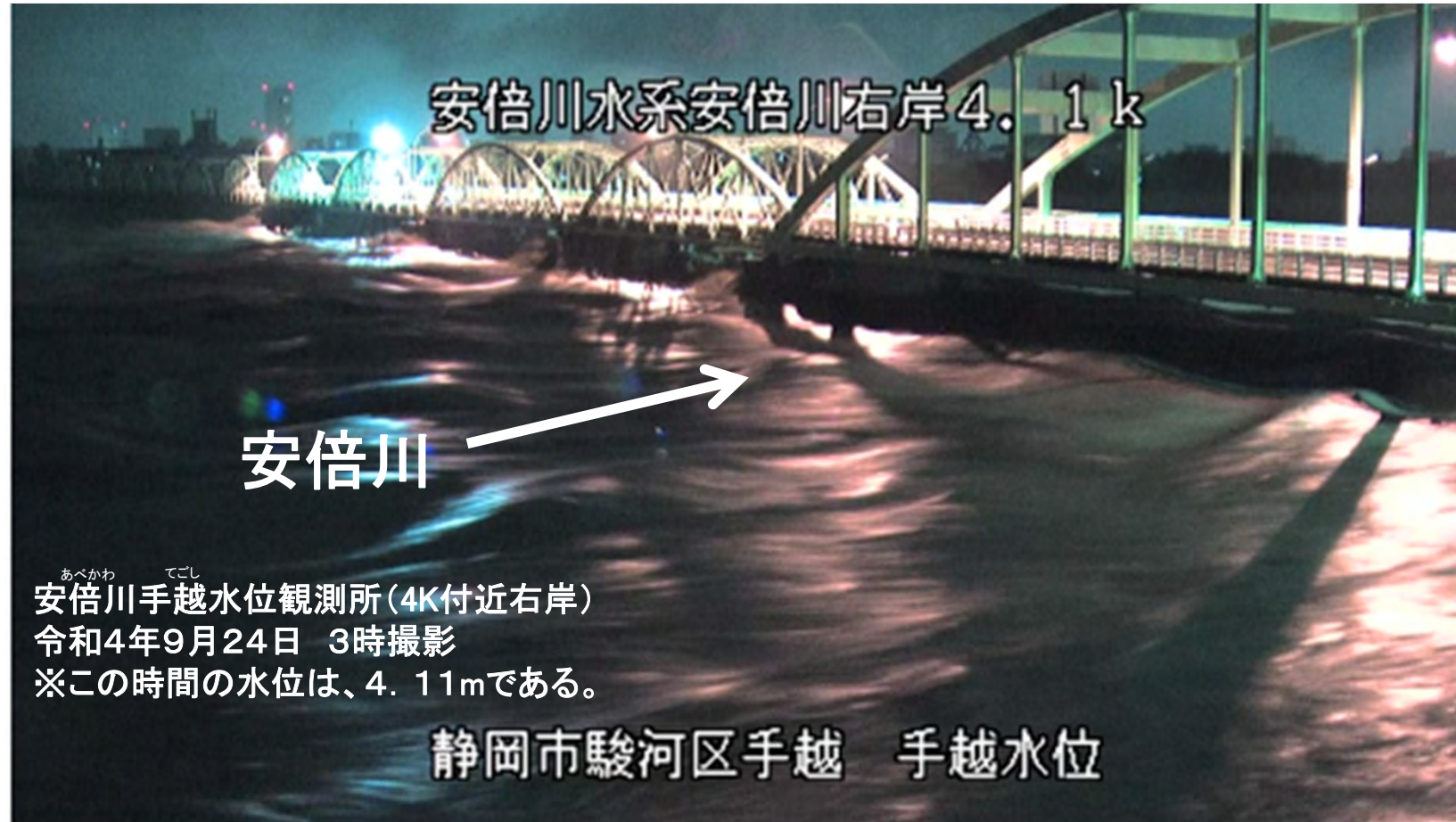
神座地点における流量低減効果

2. 令和4年9月23日～24日の台風15号による安倍川・大井川流域の出水状況について

2. 令和4年9月23日～24日の台風15号による安倍川大井川流域の出水状況

速報版【第2報】
令和4年10月06日

Ver1.3



中部地方整備局 静岡河川事務所
長島ダム管理所

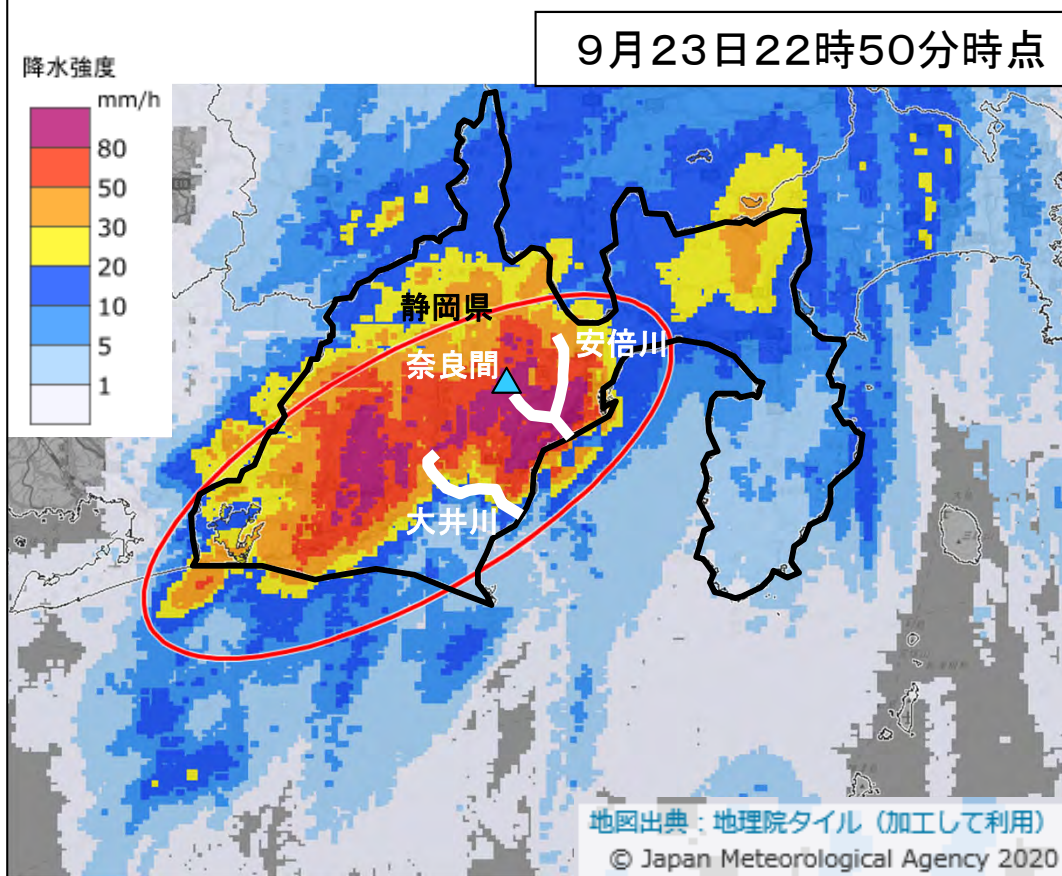
※本資料に掲載されている数値等は速報値です。今後の精査等により変更をする場合があります。

(1)令和4年9月23日～24日の大雨による気象概況など

台風15号により暖かく湿った空気が流れ込んだ。この為、大気の状態が非常に不安定となり、一時線状降水帯が発生するなど断続的な大雨となった。また水位では、安倍川の**手越観測所**では、**平成以降最高となる4.23m**を観測した。

静岡県では、9月23日より中部、西部を中心に非常に激しい雨となった。静岡市など県中部では、24日午前の時点で**1時間に80mmを超える雨量**(右図の赤枠)を観測した。また、降り始め(9月22日23時)から24日午前4時までの降水量では、奈良間雨量観測所(静岡市奈良間)にて**425mm**を記録している。

23日夜の時点で、静岡県ほぼ全域に土砂災害警戒情報を発表し、また静岡市をはじめ多くの市町に避難指示を発表した。



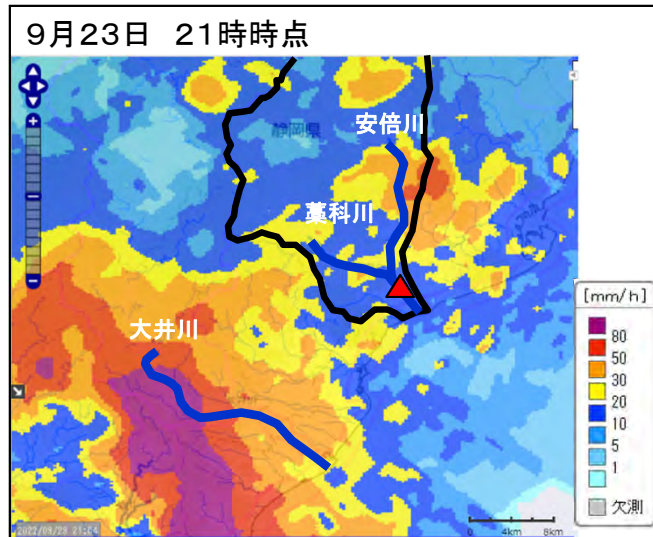
雨雲の動き

※速報値のため変更される場合があります。

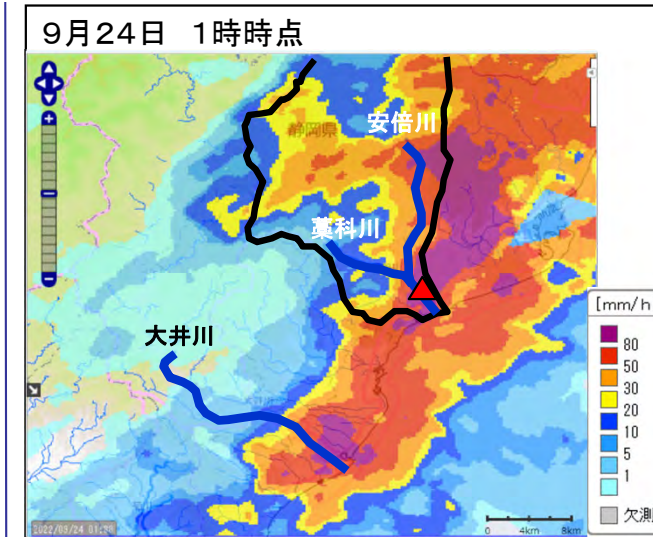
(2)令和4年9月23日～24日 レーダー雨量の概況

※速報値のため変更される場合があります。

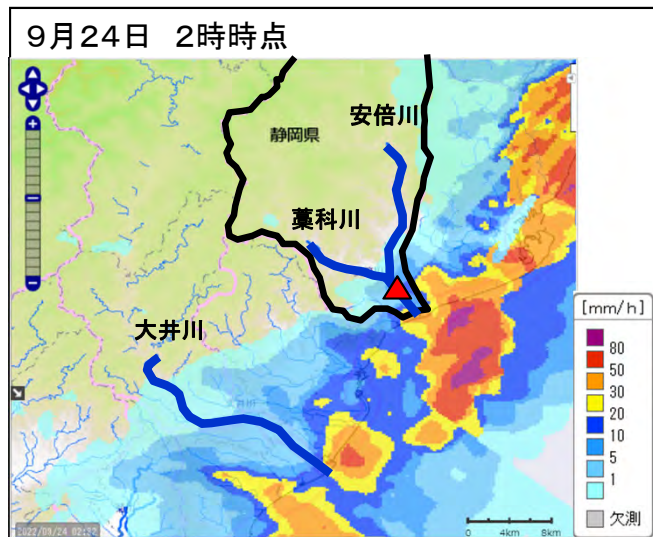
- 9月23日に氾濫危険水位を超過した手越地点の水位観測結果を踏まえ、レーダー雨量の画像を抽出し概況を記述した。
※水位観測結果のグラフはp.12を参照



- 安倍川流域に **20mm/h を超える雨量**をもたらす雨雲が通過
- 21時以降、手越地点では水位が上昇傾向となる。



- 安倍川上流部では **80mm/h を超える雨量**をもたらす雨雲が通過
- 水位はさらに上昇し、手越水位観測所にて**避難判断水位(3.4m)**を超える水位を観測。



- 安倍川上流部では、**60mm/h を超える雨量**をもたらす雨雲が通過
- 水位は上昇し、手越水位観測所にて**氾濫危険水位(4.0m)**を超える水位を観測。



- ピーク時の水位 (**4.23m**)を観測以降、雨は弱まり、8時以降の水位は氾濫注意水位を下回る。

※▲：手越水位観測所の位置

(3) 静岡河川事務所管内安倍川・大井川の最高水位状況



かんざ
神座水位観測所
水防団待機水位を超過

うしづま
牛妻水位観測所
氾濫注意水位を超過

ならま
奈良間水位観測所
出動水位を超過

てごし
手越水位観測所
氾濫危険水位を超過

ほそじま
細島水位観測所
出動水位を超過

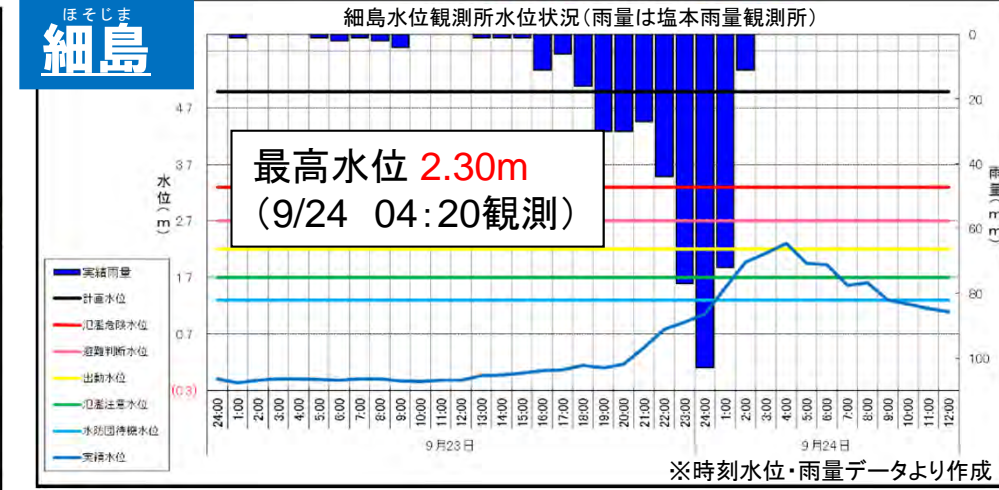
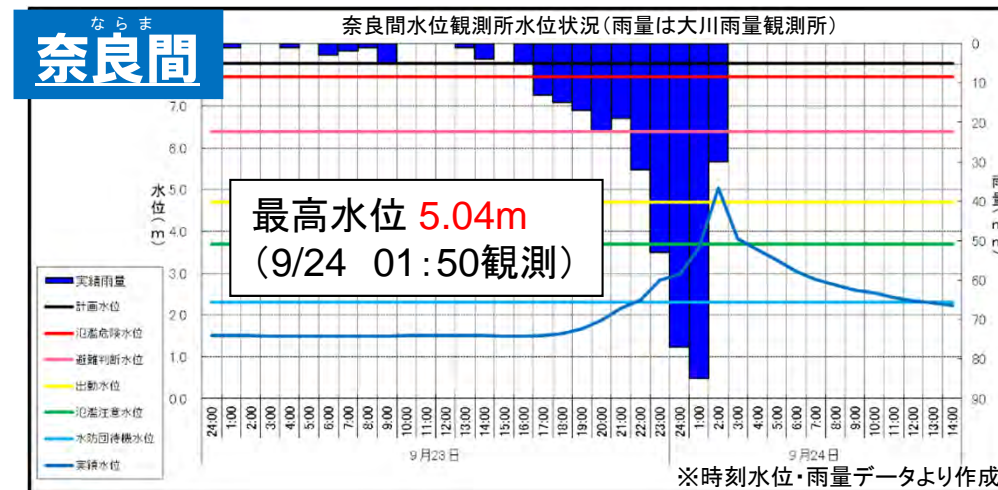
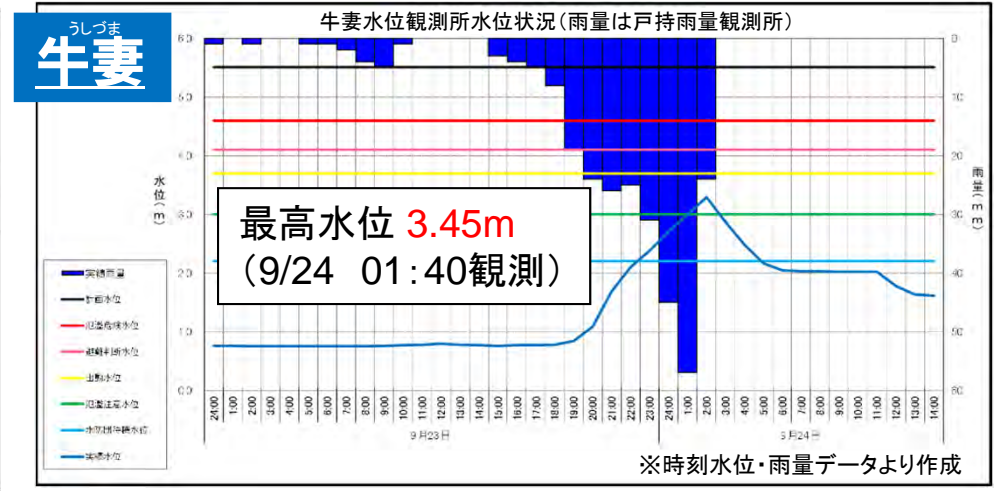
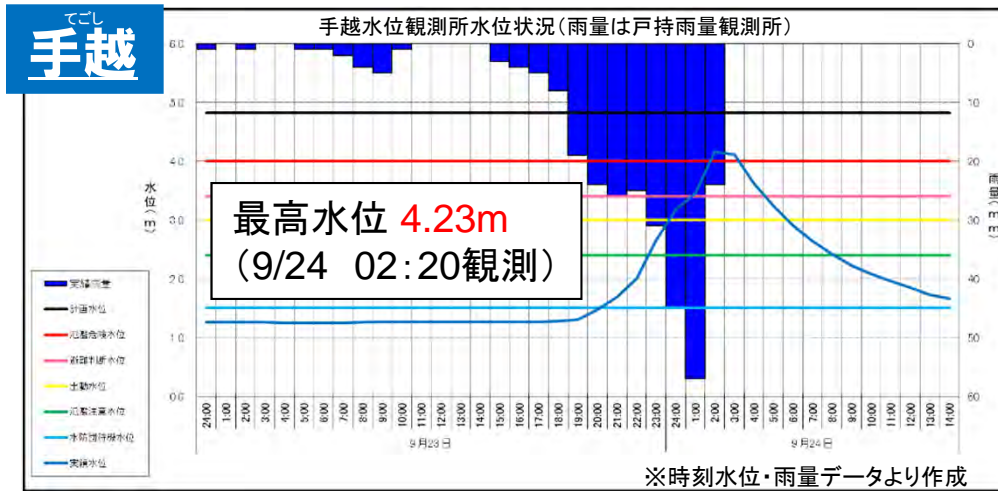
- : 氾濫危険水位超過
- : 避難判断水位超過
- : 出動水位超過
- : 氾濫注意水位超過
- : 水防団待機水位超過
- : 水防団待機水位未滿

※速報値のため
変更される場合があります。

(4)安倍川・大井川の水位観測所 水位状況

※速報値のため変更される場合があります。

9/23 0時 ~ 9/24 14時の各水位観測所における水位の変遷は以下の通り。



<各水位観測所 ピーク時水位の整理>

河川名	観測所名	今回最高水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	出動水位	避難判断 水位	氾濫危険 水位	計画 高水位
安倍川	牛妻	3.45	2.20	3.00	3.70	4.10	4.60	5.51
	手越	4.23	1.50	2.40	3.00	3.40	4.00	4.82
藁科川	奈良間	5.04	2.30	3.70	4.70	6.40	7.70	8.02
大井川	細島	2.3	1.30	1.70	2.20	2.70	3.30	4.99

手越水位観測所(静岡市)で、氾濫危険水位を超える
 奈良間水位観測所(静岡市)で、出動水位を超える
 牛妻水位観測所(静岡市)で、氾濫注意水位を超える
 細島水位観測所(島田市)で、出動水位を超える

(5)出水時巡視の結果

安倍川、大井川のほぼすべての水位観測所において氾濫注意水位を超え、特に手越水位観測所においては氾濫危険水位にも到達したため、23日夜から24日午前にかけて安倍川、^{わらしな}藁科川、大井川の全川対象に出水時巡視を実施。巡視の結果、藁科川9.0k左岸において、被災を確認した。

被災内容

藁科川9.0k左岸大原樋管(静岡市)(農)下流部において、洗堀による被災を確認。



被災状況(下流側)



被災状況(上流側)

出水時巡視の状況



撮影場所:藁科川 牧ヶ谷橋(1.2k付近)付近 上流から下流を望む
撮影日時:令和4年9月24日6時頃

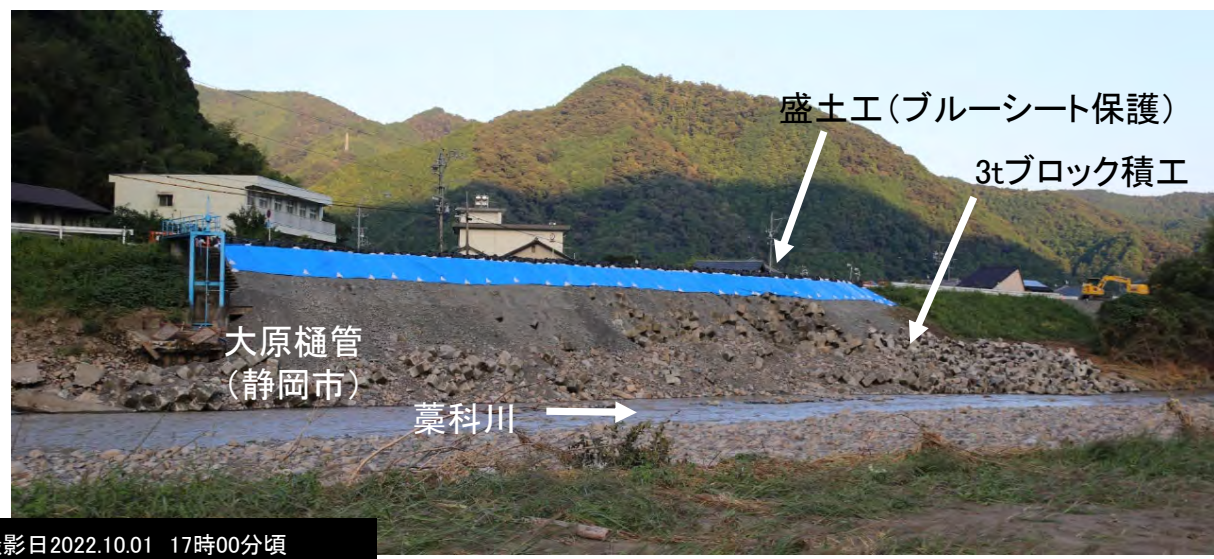


(6) 藁科川 静岡市葵区大原地先(左岸9.0k) 被災～復旧状況

藁科川左岸9.0k付近において、L=約73mが被災。
2022年9月30日に、応急復旧が完了。



応急復旧後の状況



(7)河川改修による治水効果(安倍川水系安倍川)

安倍川では、河道掘削により河川水位が**約0.2m低下**

安倍川では、令和3年度に河道掘削を行ったことにより、静岡市駿河区手越地先(安倍川4.0k地点)で、**約0.2mの水位低下**が図られた。

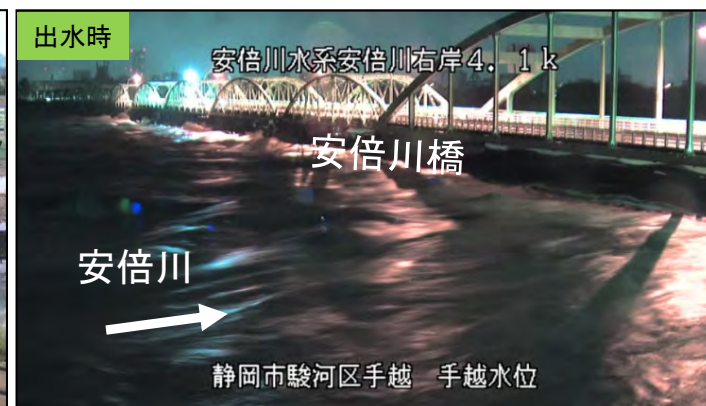
○位置図



○手越観測所(4.0k)付近出水状況



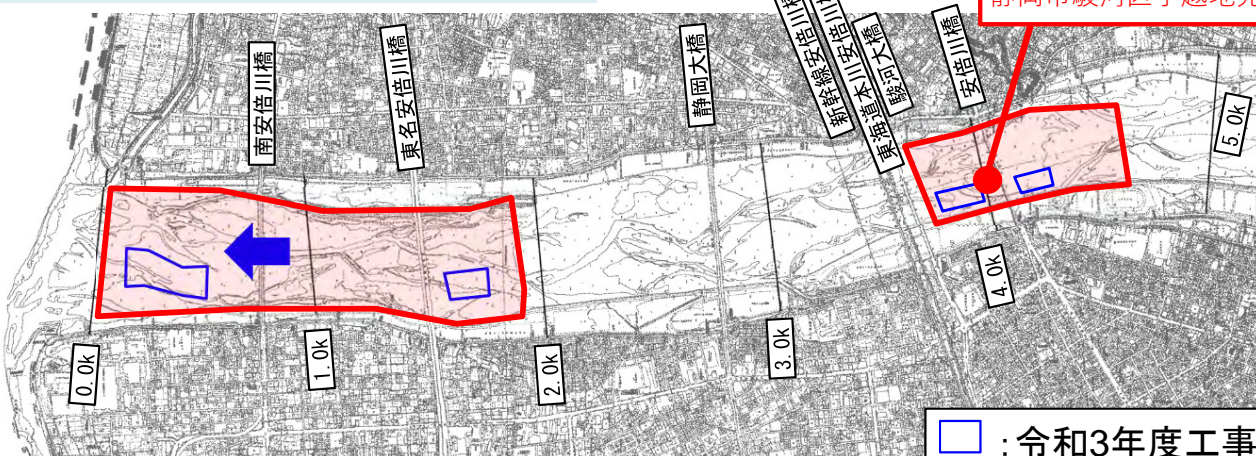
2019年9月9日9時00分撮影



2022年9月24日3時23分撮影

○事業実施箇所【河道掘削】

(令和3年度工事;令和4年3月末)

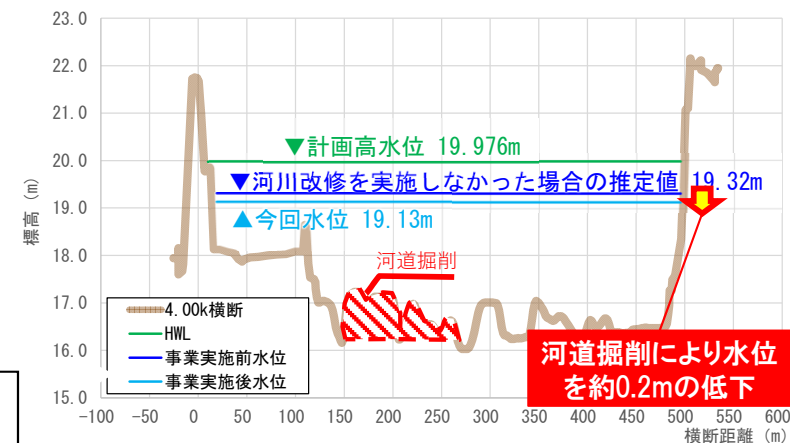


□ : 令和3年度工事
 □ : 当面5か年工事

※記載の水位・被害状況は、速報値であり、今後変更となる可能性があります

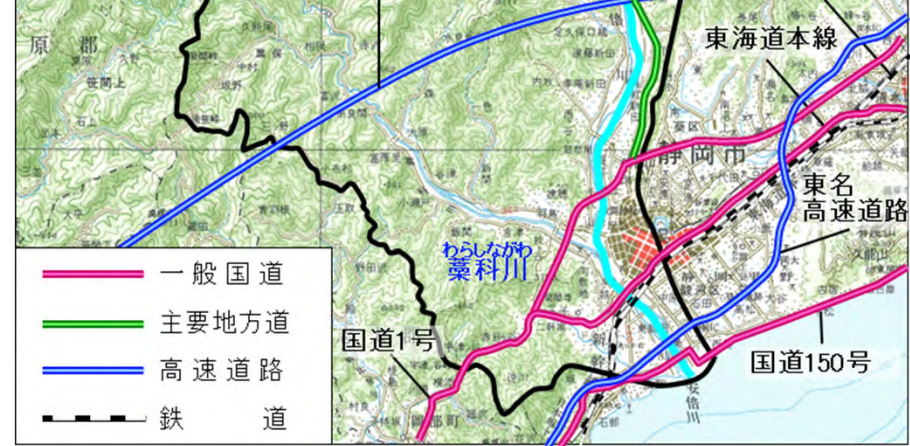
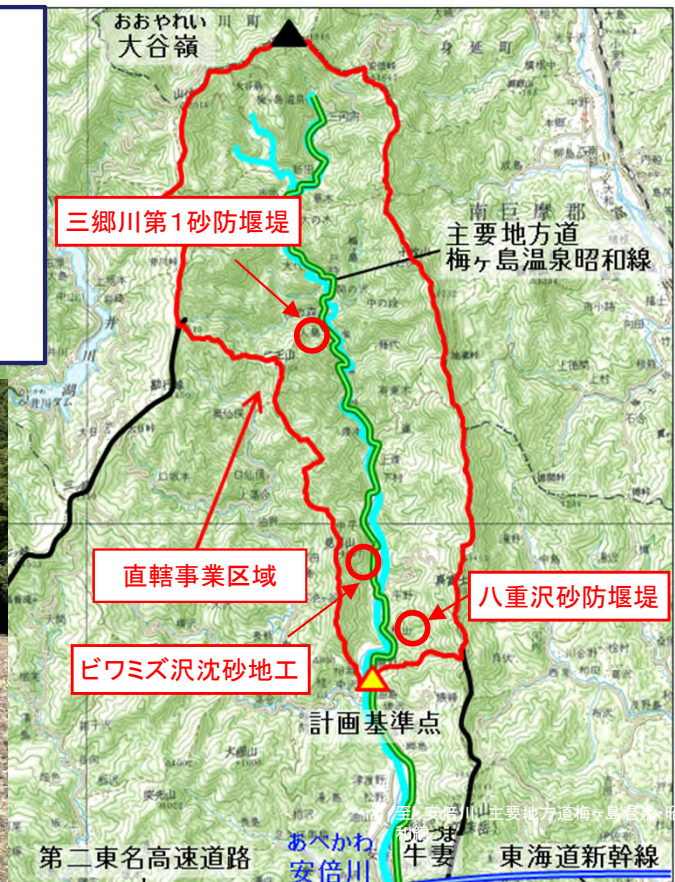
○今回出水による整備効果(水位低下効果)

静岡市駿河区手越地先(安倍川4.0k地点)



(8) 安倍川支川八重沢土砂災害(静岡県静岡市葵区横山地先)

災害発生日：令和4年9月24～25日(確認中)
 降雨状況：連続雨量 420mm (9月22日15時～9月24日4時)
 時間最大雨量 82mm (9月24日1時～2時) ※静岡県平野観測所
 発生箇所：静岡県静岡市葵区横山地先
 崩壊状況：土石流 約11,100m³ (確認中)
 状況：安倍川支川八重沢川において、土石流が発生。
 八重沢砂防堰堤を超過し、下流部の製茶工場1件被災。



(8)安倍川支川八重沢土砂災害(静岡県静岡市葵区横山地先)
しずおかけんしずおかしあおいくよこやま



令和3年5月7日時点

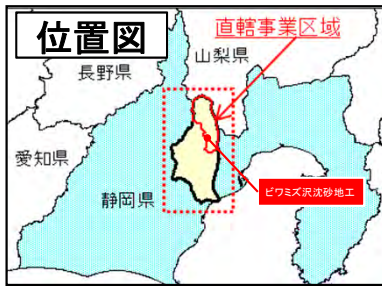


令和4年9月26日時点

(9)【施設効果事例】ピワミズ沢沈砂地工(静岡県葵区平野地先)

しずおか あおい ひらの

災害発生日：令和4年9月24～25日(確認中)
 降雨状況：連続雨量 420mm(9月22日15時～9月24日4時)
 時間最大雨量 82mm(9月24日1時～2時)
 ※静岡県平野観測所
 発生箇所：静岡県静岡市葵区平野地先
 崩壊状況：土石流捕捉量 約2,000m³(推定値)
 状況：25mプール約4個分(25mプールの容量：約540m³)
 状況：台風15号による大雨により土石流が発生したが、沈砂地が整備されており土砂を捕捉。下流地区への被害を未然に防止。



静岡県静岡市



土石流発生前 (R4.8.23撮影)

土石流発生後(R4.9.28撮影)



施設諸元
 堤長 L=88.5m
 堤高 H=3.0m
 令和3年11月完成



(9)【施設効果事例】ピワミズ沢沈砂土工(静岡市葵区平野地先)

ピワミズ沢沈砂土工(令和3年11月完成)の隣にある大河内小中学校の校長先生が、「砂防えん堤の威力」として、台風15号における沈砂土工の効果をも、小中学校のホームページにて紹介してくださいました。



大河内小中学校 澤本校長先生



完成式典の様子(令和4年1月)

静岡市立 大河内小中学校

ホーム 校長あいさつ 学校紹介 アルバム 月行事予定

ニュース

最新情報 過去情報

2022年10月
2022年9月
2022年8月
2022年7月
2022年6月
2022年5月
2022年4月
2022年3月
2022年2月
2022年1月
2021年12月

砂防えん堤の威力

2022年 09月 29日

台風15号の影響で、市内でも多くの地域が甚大な被害に遭われました。お見舞い申し上げます。本校では停電や通行止め等の影響はあったものの、幸いなことに子どもたちも、校舎も、そして職員も大きな被害はありませんでした。山の近くにある本校は過去には土砂が流れ込んだ歴史もあり、他校や教育委員会からも心配の電話をたくさんいただきました。本校の校舎の裏側には、立派な砂防えん堤があり、さら今年1月には校舎の横の方にも砂防えん堤が完成し、見事に土砂の流入を防いでもらうことができました。立派な砂防えん堤の威力に感謝です。

拡大表示

拡大表示

静岡市立大河内小中学校 (ednet.jp)HPより

さんごうがわだいいち しずおか あおい にゅうじま
(10)【施設効果事例】 三郷川第1砂防堰堤(静岡市葵区入島地先)

災害発生日：令和4年9月24～25日（確認中）
 降雨状況：連続雨量 300mm
 （9月22日15時～9月24日8時）
 時間最大雨量 58mm（9月24日1時～2時）
 ※静岡県関の沢観測所
しずおか しずおか あおい にゅうじま
 発生箇所：静岡県静岡市葵区入島地先
 崩壊状況：流木流捕捉量 約90m³（推定値）
 状況：台風15号による大雨により土砂及び流木が発生したが、既設砂防堰堤に設置された流木対策施設により流木を捕捉し、下流地区への被害を未然に防止。



流木捕捉工設置前 (H27撮影)



流木捕捉工設置後 (H30撮影)



流木発生後 (R4.9.29撮影)



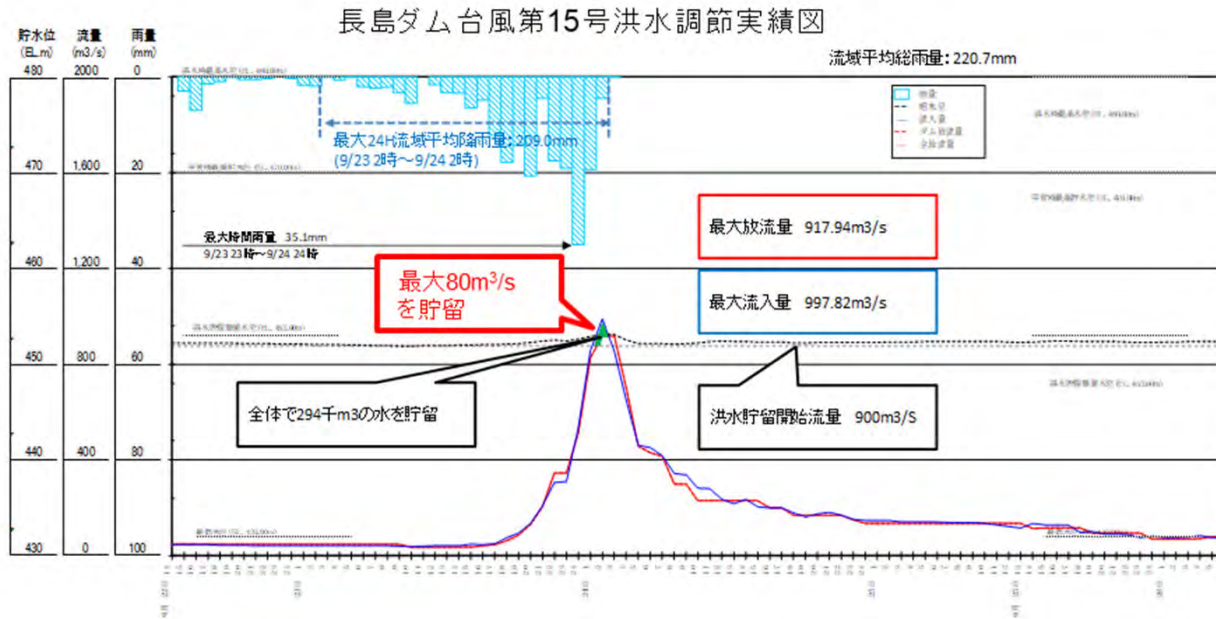
堰堤諸元
 堰高 H=10.0m
 堰長 L=55.0m
 昭和50年3月完成
 平成30年 流木止め設置

(11)長島ダム『令和4年9月の台風第15号に伴う大雨』出水概要

- 台風第15号では、長島ダムにおいて、累加雨量297mm、時間最大70mm/h(9月24日0:00)を記録し、最大流入量998m³/sに対し、ダム地点で最大80m³/s(放流量918m³/s)を貯留。
- 今回の出水により平年の約4.8倍の約1,350m³の流木を捕捉。
- 基準降雨量に達しておらず事前放流を実施していなかったが、管理開始以降(20年間)で8番目に大きい流入量にもダム群連携により下流への放流量を抑制。

【長島ダム 台風第15号洪水調節図】

被災後の状況



ダム最大流入量

順位	発生年月日	ダム流入量 (m ³ /s)	同時刻ダム放流量 (m ³ /s)	備考	順位	発生年月日	ダム流入量 (m ³ /s)	同時刻ダム放流量 (m ³ /s)	備考
1	2018/10/1	2079.27	960.81	台風24号	6	2011/7/20	1184.76	981.85	台風6号
2	2011/9/21	1870.4	911.63	台風15号	7	2003/8/9	1013.59	942.87	台風10号
3	2011/9/4	1611.8	1127.11	台風12号	8	2022/9/24	997.82	917.94	台風15号
4	2007/7/15	1528.21	1114.04	台風4号	9	2018/9/5	968.76	900.52	台風21号
5	2004/10/21	1239.23	1017.24	台風23号	10	2017/10/23	959.98	899.72	台風22号

(12)台風15号における自治体への支援について【静岡河川事務所】

静岡市からの要請3カ所の内①と②の2カ所について、静岡河川事務所が技術的支援を実施中。

- ①主要地方道梅ヶ島温泉昭和線 静岡市葵区蕨野地区
- ②市道大原釜戸線 静岡市葵区大原
- ③市道清地1号線(清水橋)



静岡市との打ち合わせの状況



静岡県河川事務所と静岡市とのWeb会議の状況

大型土嚢作成の状況



(13)台風15号における自治体への支援について【静岡河川・静岡国道】

9月26日(月)静岡市からの要請を受け、静岡河川事務所及び静岡国道事務所では、台風15号の影響で断水が続いている静岡市立清水病院に、飲料水の引き渡しを実施。
飲料水:ペットボトル(2L×6本×65箱=780L)



静岡市立清水病院への飲料水の引き渡しの状況

(14)台風15号における自治体への支援について【各地方整備局】

関東、北陸、近畿の各地方整備局から到着した給水車4台が、静岡市清水区内で給水活動を実施。



給水車による給水活動の状況

(15)台風15号における自治体への支援について【(一社)静岡県建設業協会】

(一社)静岡県建設業協会の方々が、国土交通省が保有する4台の給水車を使用し、清水区の給水支援活動を実施。



給水活動の状況



任務完了の状況

3. 大井川水系流域治水プロジェクトについて

(1)大井川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～利水ダムも協力し洪水氾濫に備える流域治水対策～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、大井川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 下流部の氾濫域は、風土を生かした紙製造業、水産食料品製造業などが発展している反面、降水量が多く扇状地地形のため、大井川が氾濫すれば氾濫流が早い速度で拡散するなど水害リスクが高い地域であることから、侵食対策、土地利用の誘導の検討、水防災教育の推進などを実施する。
- これらの取組により、国管理区間においては、戦後最大規模の昭和54年10月洪水を上回る洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。

凡例

- 浸水想定範囲(戦後最大の昭和54年10月を上回る洪水に対する想定氾濫解析)
- ⇄ 大臣管理区間
- 河道掘削
- 堤防整備 侵食対策
- 河川防災ステーションの活用
- 市町界
- 流域界

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・ 侵食対策、堤防整備、河道掘削、護岸整備
- ・ 海岸保全施設の整備
- ・ 雨水貯留施設設置補助事業等
- ・ 砂防施設等の整備
- ・ 森林の整備・保全
- ・ 利水ダム等15ダムにおける事前放流等の実施 (関係者：中部電力(株)、国 など)

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・ 立地適正化計画に基づく土地利用の誘導の検討 等

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ 河川防災ステーションの活用
- ・ 水防災教育教材等を活用した、小中高等学校等への水防災授業の実施
- ・ 要配慮者利用施設における避難計画の策定及び訓練の促進
- ・ 国・各自治体が所有する排水ポンプ車等を活用した排水訓練等の実施
- ・ マイタイムライン作成の推進
- ・ 各種ハザードマップの電子媒体化による情報発信の適正化
- ・ 海岸保全施設の災害時の活用検討
- ・ 水害リスク空白域の解消
- ・ 宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明
- ・ 洪水予報の予報文及び伝達手法の改善検討 等

■ グリーンインフラの取り組み 詳細は次ページ

護岸整備

立地適正化計画に基づく土地利用の誘導の検討

河川防災STの活用 (吉田町川尻防災ST)

長島ダム

丹川ダム

河川防災STの活用 (焼津市中島防災ST)

海岸保全施設の災害時の活用検討

水防災教育

中流七曲りブロック河川整備(静岡県)

利水ダム等における事前放流等の実施【全15ダム】

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

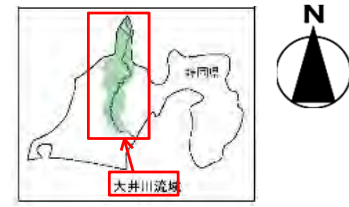
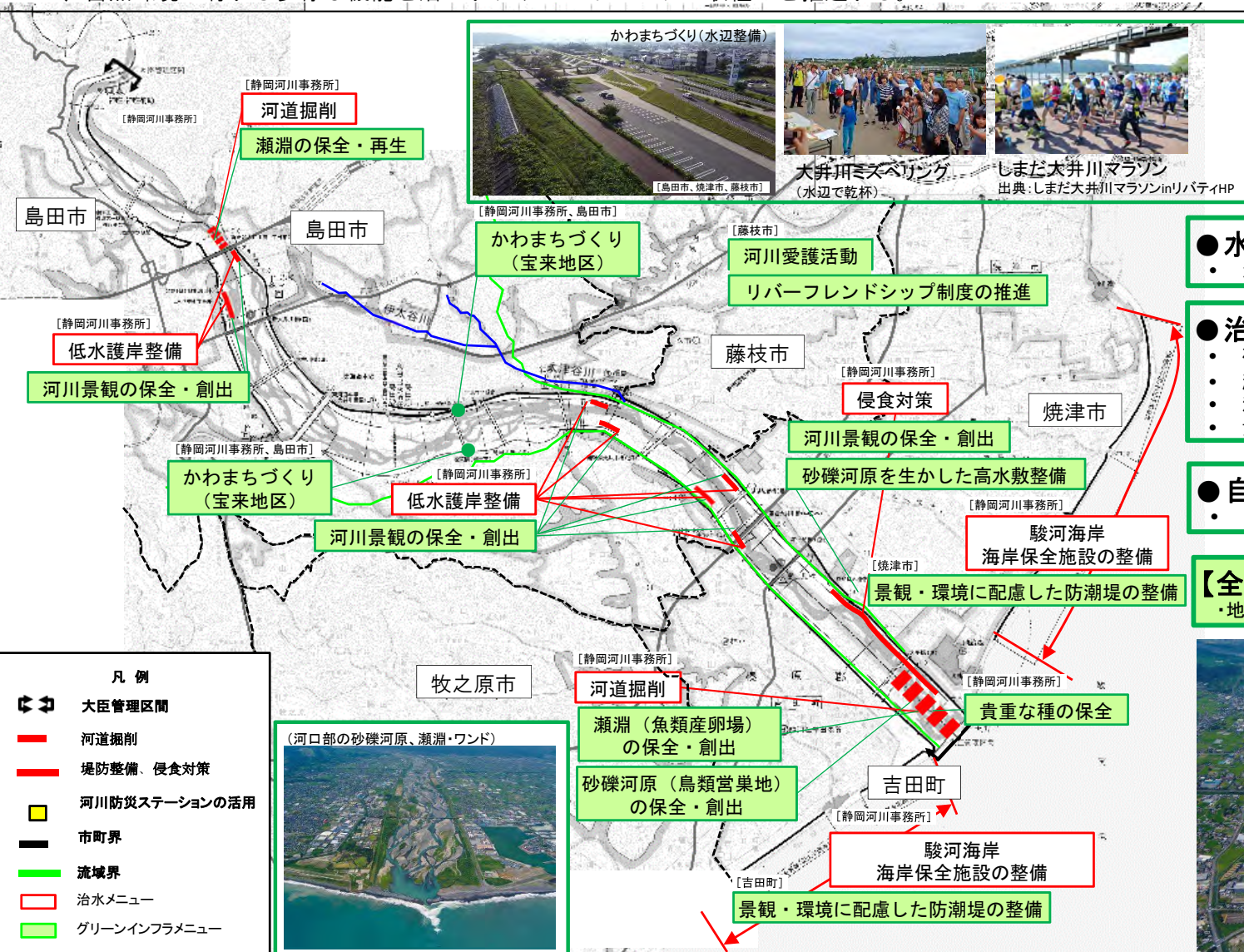
26 駿河湾

(1)大井川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～利水ダムも協力し洪水氾濫に備える流域治水対策～

●グリーンインフラの取り組み 『観光名所を活用した魅力ある水辺空間の創出』

- 上流域は豊かな自然環境を有し、中下流部は砂礫河原が形成、河口部はアユを始め回遊性魚類の遡上系となっており、コアジサシの繁殖地や渡り鳥の中継地となっているなど良好で多様な生態系を育むとともに、地域住民に憩いと安らぎを与える場となっている。
- 観光名所である蓬莱橋・川越し遺跡を中心とした宝来地区の賑わい創出にむけ、今後概ね7年間（令和10年度）までに人と河川との豊かなふれあいの増進をはかるなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組みを推進する。



●水辺の賑わい水辺空間創出

- ・ かわまちづくり(宝来地区)

●治水対策における多自然川づくり

- ・ 砂礫河原の保全
- ・ 瀬淵の保全・再生
- ・ 河口部のアユの遡上環境の保全・創出
- ・ 貴重種の生息環境の保全・再生

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・ 島田市大井川ミズベリング協議会

【全域に係る取組】

- ・ 地域のニーズを踏まえた、賑わいのある水辺空間創出への連携・支援



凡例

- 大臣管理区間
- 河川掘削
- 堤防整備、侵食対策
- 河川防災ステーションの活用
- 市町界
- 流域界
- 治水メニュー
- グリーンインフラメニュー



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

(2)大井川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～利水ダムも協力し洪水氾濫に備える流域治水対策～

● 大井川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 大井川流域での重大災害の発生を未然に防ぐため、堤防整備、河道掘削、侵食対策、利水ダム等における事前放流、雨水浸透施設設置補助事業等を実施する。あわせて、被害軽減のため、安全なまちづくり(立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への住居誘導等)、マイタイムラインの有効活用を図るため、住民の意識向上に向けた水防災教育教材の作成を実施する。

【中期】 大井川下流域における侵食破堤のリスク軽減を図るため、脆弱な護岸構造箇所の侵食対策(低水護岸整備)を実施。あわせて、被害軽減のため、安全なまちづくり(立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への住居誘導等)、マイタイムラインの有効活用を図るため、住民の意識向上に向けた水防災教育を実施する。

【中長期】 引き続き、侵食破堤対策である侵食対策(低水護岸整備)を推進すると共に、洪水を安全に流下させる断面の確保を図るため河道の維持掘削を行い、流域全体の安全度向上を図る。あわせて、被害軽減のための取り組みをあらゆる関係者と一体となって推進する。

【事業費】

■河川対策

全体事業費 約296億円 ※1

対策内容 堤防整備、河道整備、侵食対策 等

■海岸対策

全体事業費 約106億円 ※2

対策内容 海岸保全施設の整備

※1:直轄及び各水系の河川整備計画の残事業費を記載
 ※2:直轄海岸保全施設整備事業の残事業費を記載

【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期(R2~R7)	中期(R8~R12)	中長期(R13~R22)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	直轄区間における市街地等を守る堤防整備、河道掘削、侵食対策	静岡河川事務所	堤防整備・河道掘削 侵食対策		
	海岸保全施設の整備	静岡河川事務所	海岸保全施設の整備		
	大井川中流七曲りブロックにおける市街地等を守る河道掘削、堤防整備大井川下流ブロックにおける市街地等を守る護岸整備	静岡県		河道掘削・堤防整備	
	砂防施設等の整備	静岡県		施設配置等の計画策定	施設整備
	利水ダム等15ダムにおける事前放流等の実施	中部電力(株)、静岡河川事務所、長島ダム管理所 など		事前放流等の実施	
	雨水浸透施設設置補助事業等	島田市、焼津市、藤枝市、川根本町			補助事業等の継続
	森林の整備・保全	森林整備センター、静岡県			
被害対象を減少させるための対策	「安全なまちづくり」に向けた取組 立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への住居誘導の計画策定・検討	島田市、焼津市、藤枝市	住居誘導計画の策定・検討		安全なまちづくりに向けた取り組みの実施
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	河川防災ステーションの活用	静岡河川事務所、焼津市、吉田町	河川防災ステーション完成	河川防災ステーションの活用	
	マイタイムラインの活用	静岡河川事務所、静岡県、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	マイタイムラインの作成		マイタイムラインの運用・更新
	水防災教育教材等を活用した、小中高等学校等への水防災授業の実施	静岡河川事務所、静岡県、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	水防災教育教材の作成		水防災教育教材の実施
	発表の対象区域や避難の切迫性等が首長や住民に確実に伝わる洪水予報文、伝達手法の改善	静岡河川事務所、静岡地方気象台			
グリーンインフラの取組	宝来地区かわまちづくり	静岡河川事務所、島田市	にぎわいの創出		
	砂礫河原の保全・創出	静岡河川事務所	砂礫河原(鳥類営巣地)の保全・創出		砂礫河原(鳥類営巣地)の保全
	瀬淵の保全・再生	静岡河川事務所			瀬淵(魚類産卵場)の保全・再生
	貴重な種の保全	静岡河川事務所			貴重な種の保全
	河川愛護事業	藤枝市			河川の機能維持・環境保全
	リバーフレンドシップ制度の推進	藤枝市			河川環境美化活動の推進
	景観・環境に配慮した防潮堤整備	焼津市、吉田町			樹木の植栽による景観・環境に配慮した防潮堤整備
	大井川「川まつり」の開催	静岡県			河川とのふれあい推進

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

点線:策定、検討
 実線:施工、運用

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

(3)大井川水系流域治水プロジェクト【事業効果(国直轄区間)の見える化】

～利水ダムも協力し洪水氾濫に備える流域治水対策～

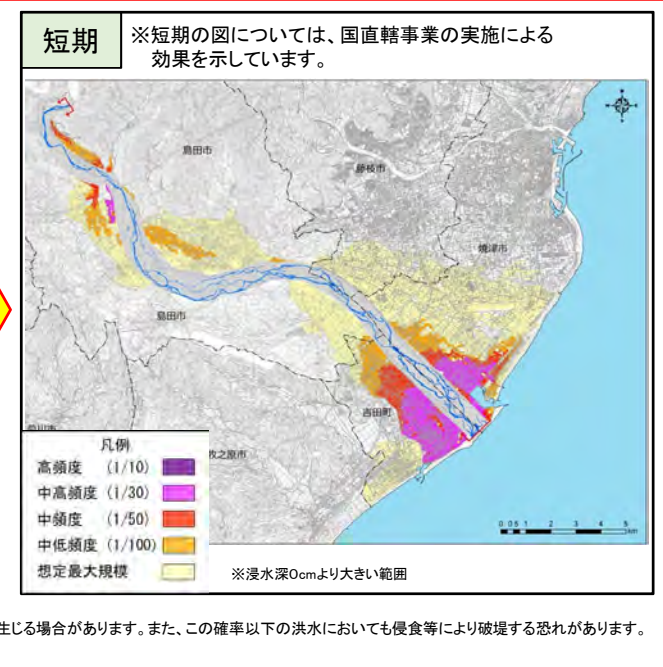
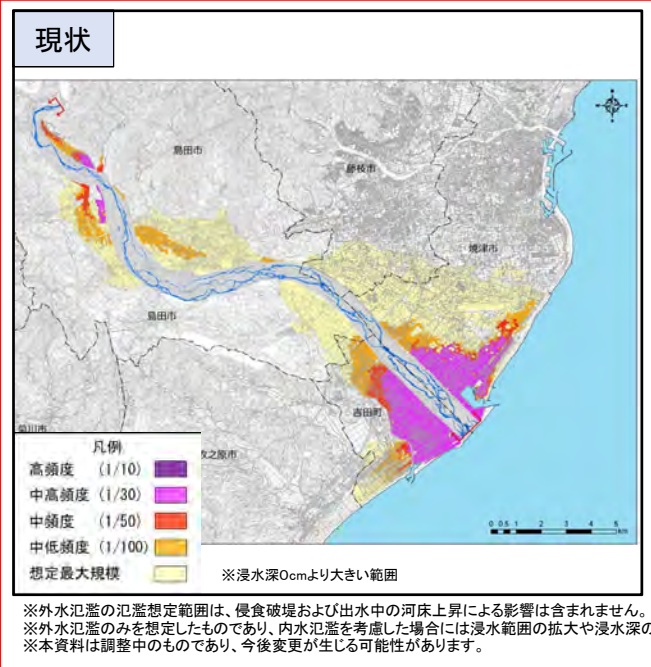
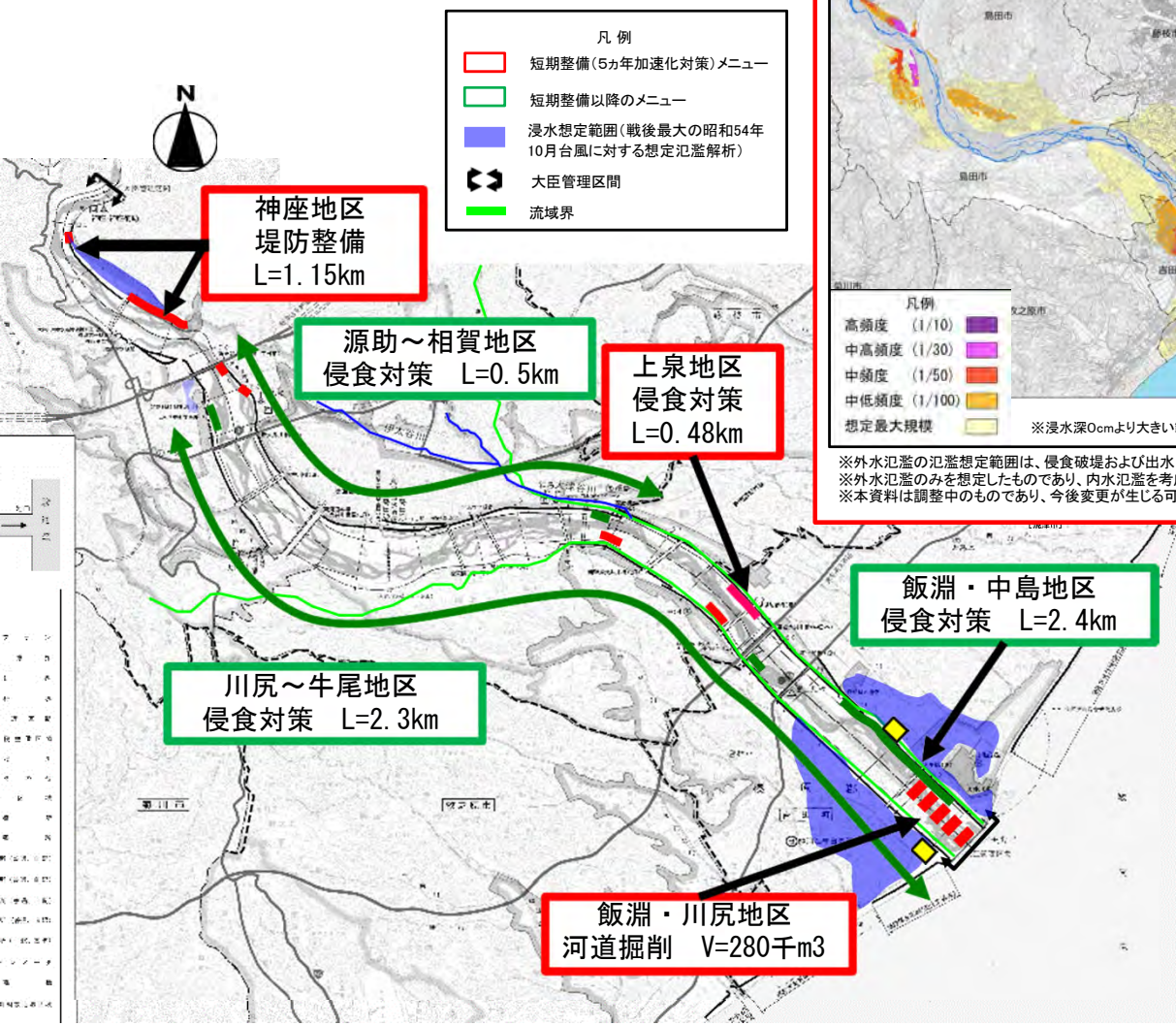
○飯淵・川尻地区の河道掘削および神座地区の堤防整備事業、低水護岸整備のR7完了に伴い、S54.10月洪水規模(観測史上最大流量)の洪水でも直轄管理区間でHWL以下で安全に流下させることが可能。
 ○大井川下流域における侵食破堤のリスク軽減を図るため、今後は脆弱な護岸構造箇所の侵食対策(低水護岸整備)を実施する。

【短期整備完了時の進捗】

飯淵・川尻地区 河道掘削 24%→100%	上泉、神座地区 侵食対策 0%→100%	神座地区 支川合流点整理 0%→25%
神座地区 堤防整備 31%→100%	飯淵・中島地区 侵食対策 0%→23%	

短期整備(5カ年加速化対策)効果

河川整備率 約81%→約97%



短期(当面5カ年)及び短期以降の事業スケジュール

対策内容	地区	R3		
		短期(R3~R7年度)	中期(R8~R12年度)	中長期(R13~R22年度)
		1/10以上~1/10以上(※1)	1/10以上~1/10以上(※1)	1/10以上~1/10以上(※1)
河道掘削	飯淵・川尻地区	24%	100%	
	築堤	27%	100%	
侵食対策	神座地区	31%	100%	
	上泉地区	33%	100%	
	神座地区(神座上流)	0%	100%	
	源助～相賀地区	0%	0%	100%
	川尻～牛尾地区	0%	40%	100%
	飯淵・中島地区	0%	10%	100%
支川合流点処理	神座地区	0%	25%	100%

・スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合があります。
 ・この安全度は、上図に記載されている確率を転記したものです。(※1)

(4)大井川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～利水ダムも協力し洪水氾濫に備える流域治水対策～

<p>戦後最大洪水等に対応した河川の整備</p>  <p>97% (概ね5か年後)</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p>  <p>1市町村 (令和3年度末時点)</p>	<p>流出抑制対策の実施</p>  <p>51施設 (令和2年度実施分)</p>	<p>山地の保水機能向上 および土砂・流木災害対策</p>  <p>治山対策等の実施箇所 2箇所(令和3年度実施分) 砂防関係施設の整備数 4施設(令和3年度完成分)</p>	<p>立地適正化計画における防災指針の作成</p>  <p>0市町村 (令和3年12月末時点)</p>	<p>避難のためのハザード情報の整備</p>  <p>洪水浸水想定区域 3河川 (令和3年12月末時点) 内水浸水想定区域 1団体 (令和3年12月末時点)</p>	<p>高齢者等避難の実効性の確保</p>  <p>避難確保 洪水 510施設 計画 砂防 66施設 (令和3年12月末時点) 個別避難計画 6市町村 (令和4年1月1日時点)</p>
--	---	---	--	--	---	--

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



整備イメージ(堤防整備)



整備イメージ(侵食対策)

堤防の高さ・断面不足箇所の整備や河道掘削の実施により河川整備計画の目標流量を安全に流下させる。また、侵食破堤リスク軽減を図るため低水護岸工による侵食対策を実施。

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画を活用した島田市の取り組み状況

I 災害の危険性が低いエリアへの居住誘導

(ア)居住誘導区域から除外する基準の設定

- ▶1/100降雨確率における浸水深1.0m以上の区域を居住誘導区域から除外した。
- ▶1階の軒下が浸水する目安は1.0～2.0mと示されるなか、2階への垂直避難することにより人命が助かる基準とし、浸水深1.0m以上の区域を居住誘導区域から除外した。

浸水深	浸水程度の目安
0～0.5m	床下浸水(大人の膝までつかる)
0.5～1.0m	床上浸水(大人の腰までつかる)
1.0～2.0m	1階の軒下まで浸水する ←2階に避難すれば命が助かる基準
2.0～5.0m	2階の軒下まで浸水する
5.0m～	2階の屋根以上が浸水する

(イ)災害リスクの周知

- ▶ハザードマップの更新に合わせ災害リスクを市民へ周知する。
- ▶がけ地に近接する住宅に対し災害の危険性を周知するとともに居住誘導区域への移転を促す取り組みを推進する。

II 総合的な治水対策

- 頻発激甚化する豪雨災害に向けた対策
 - ▶河川改修、水路や調整池の整備を促進する。
 - ▶住宅、店舗などへ雨水浸透施設の設置を促進する。

III 大規模災害に備えた対策

- 適切な避難行動の促進
 - ▶大規模地震対策を含む災害発生時の避難行動について防災講座や避難訓練などの取り組みを促進する。

(※島田市立地適正化計画:令和4年4月1日公表予定)

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

水防災教育学生サポーター制度



オンライン調印式の様子

制度の流れ

- ①派遣依頼 (依頼者: 学校や地域イベント等での水防災教材の使用)
- ②派遣要請 (静岡大学 現代教育研究所※2)
- ③学生の選定、派遣 (事務局※1: 静岡河川事務所 減災協議会構成員(市町))
- ④関係者で打合せ (学生、依頼者、(事務局等)で授業の内容や流れ、当日の役割について確認する)
- ⑤水防災授業等の実施
- ⑥学生から事務局へ報告書の提出
- ⑦学生サポーター活動の認定

事務局は報告書を元に活動の様子をHP等で紹介する。

※1 事務局は、水防災教材の派遣依頼を受けて、大学に学生サポーターの派遣を要請する。

※2 学生に配属する活動時に発生した問題については、学生個人もしくは大学の責任において対応する。

水防災教育授業の更なる促進及び学校と地域が協働した継続的な学校水防災教育を目的に、本制度を令和3年9月に創設。

引き続き学校水防災教育を通して、子どもたちの水防災意識の形成と主体的に避難行動をとれる人間を育成し、地域全体で水防災意識をもつことを目指す。

**4. 中島・川尻防災ステーション完成式
蓬萊橋897.4(やくなし)広場オープニングセレモニー
長島ダム管理所・「ダムの駅」長島ダムふれあい館20周年記念式典**

大井川中島地区河川防災ステーション完成式を開催

○大井川における災害対応の拠点となる大井川中島地区河川防災ステーションが令和4年2月に完成。災害時の緊急復旧活動に必要な土砂やブロック等の備蓄、ヘリポートを整備するとともに、水防団等の拠点となる水防センター(焼津市整備)を整備。
 ○完成式当日は、地元関係国会議員、焼津市議会議員、焼津市長、本省水管理・国土保全局治水課長はじめ多数(約50名)の関係の方々に参加いただき、和やかに執り行われました。

◇開催日
 令和4年4月16日(土) 9:30~10:30

◇開催場所
 静岡県焼津市中島地先
 (大井川中島地区河川防止ステーション)

◇式辞
 焼津市長 中野 弘道
 水管理・国土保全局治水課長 佐々木 淑充

◇来賓祝辞
 衆議院議員 井林 辰憲
 参議院議員 牧野 京夫
 市議会議員(議長) 池谷 和正

◇事業概要説明
 静岡河川事務所長 立松 明憲
 焼津市建設部長 久保山 巖夫

◇テープカット



中野焼津市長
 国と焼津市が連携を図りながら、大井川流域において初めてとなる河川防災ステーションの整備を進めてきた。防災対策の強化が図られるとともに、市民を守る安全・安心の基盤が充実し、大きな安心に繋がった。



井林衆議院議員
 対岸には川尻防災ステーションが整備中であり、左右兩岸にフルスペックの防災ステーションが整備されることは全国初。多くの皆様の協力を得て完成した防災ステーション。日頃から多くの皆様に活用頂けることを願っている。



池谷市議会議員
 大井川は水害と戦ってきた歴史がある。防災ステーションを核として、災害に常に備える気持ちを持っていることが大切。この防災ステーションが、地域の皆様によって防災・地域の交流の拠点となることを楽しみにしている。



佐々木治水課長
 防災ステーションは、迅速な復旧の要となる施設であり、地域の安全・安心に繋がるもの。近年の地球温暖化に伴う災害の激甚化・頻発化に対応するため、国土交通省としては治水対策に一層の努力を進めていく。



牧野参議院議員
 護岸を強化したり河道掘削をするなどの対応をしているが、絶対という保証はない。緊急時に対応できるように防災ステーションがある。皆様の安全・安心を守ることが第一の使命。完成までにご尽力頂いたすべての皆さまに感謝を申し上げます。

【4月5日 記者発表】
 【取材状況】
 テレビ静岡・静岡朝日テレビ・TOKAIケーブルネットワーク
 静岡新聞・建通新聞 (5社)
 【報道状況】(4/21時点)
 4/16 テレビ静岡
 4/16 静岡朝日テレビ
 4/17 静岡新聞



大井川中島地区河川防災ステーション



水防センター



備蓄ブロック



テープカットの様子

大井川川尻地区河川防災ステーション完成式を開催

○大井川における災害対応の拠点となる大井川川尻地区河川防災ステーションが令和4年5月に完成。災害時の緊急復旧活動に必要な土砂やブロック等の備蓄、ヘリポートを整備するとともに、水防団等の活動拠点となる水防センター(吉田町整備)を整備。
 ○完成式当日は、国会議員、吉田町長、中部地方整備局長はじめ多数(約80名)の関係の方々に参加いただき、和やかに執り行われました。

- ◇開催日
令和4年5月14日(土) 10:30~12:00
- ◇開催場所
静岡県榛原郡吉田町川尻地先
(大井川川尻地区河川防災ステーション)
- ◇式辞
吉田町長 田村 典彦
中部地方整備局長 堀田 治
- ◇来賓祝辞
衆議院議員 安倍 晋三
静岡県知事 川勝 平太
衆議院議員 井林 辰憲
参議院議員 牧野 京夫
- ◇事業概要説明
静岡河川事務所長 立松 明憲
吉田町理事 谷澤 智秀
- ◇テープカット
- ◇遠州吉田小山城太鼓披露
- ◇植樹



田村吉田町長

東日本大震災で街々を破壊する大津波を目の当たりにし、全国に先駆けて津波防災まちづくりをスタートさせた。防災安全交付金など国や県の支援を受け、町民の命を守る避難タワーに続き、このたび町民企業の財産を守る防潮堤を完成させることができた。心より感謝申し上げます。



安倍衆議院議員

吉田町は「防災対策」「成長による富の創出」そして「暮らしの安全・地域の活性化」という3つの考え方にのっとり、しっかりとしたまちづくりが進められている。

この施設の竣工を機に更なる発展につながることを願っている。



井林衆議院議員

河川両岸に防災ステーションが完成するのは、全国でもこの地域だけ。これは、防災・減災・国土強靱化計画の賜物である。

防災ステーションが地域の賑わいとなることを願うが、使われずに済むことが一番だと思っている。



堀田中部地方整備局長

国土交通省では、「防災・減災、国土強靱化のための五箇年加速化対策」を活用し、事前防災対策を推進している。

今後も関係者の皆様とともに、ハードソフト一体となった流域治水や海岸整備を強力に進めていく。



川勝静岡県知事

吉田町は防災意識が高く、町長を中心に美しくかつ強靱な町づくりをしてこられた。防潮堤は津波対策だけでなく訪れる人が楽しめるように作られている。防潮堤及び防災ステーションの完成が、新しい吉田町の未来を切り開くこととなることと確信している。



牧野参議院議員

中央防災会議が津波想定を公表した後、沿岸部の地価下落や企業移転が進み、対策として海岸堤防の強化を進めてきた。

吉田町住吉工区での海岸堤防整備を早期に進め、皆様が安心して暮らせるよう努力していきたい。

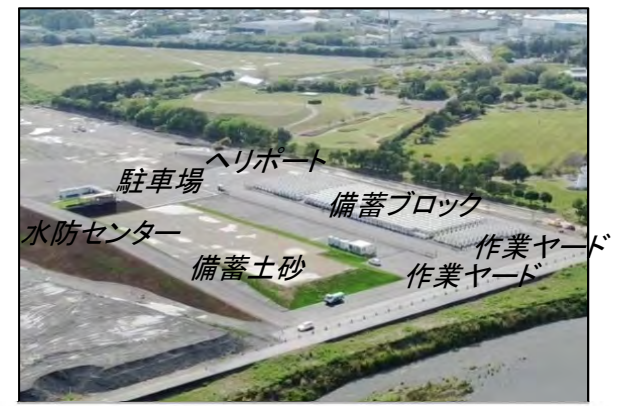
【4月22日 記者発表】

【取材状況】

テレビ静岡・静岡朝日テレビ・SBS静岡放送・静岡第一テレビ・NHK・共同通信社・中日新聞・朝日新聞・静岡新聞・建通新聞・新建新聞・FM島田(12社)

【報道状況】(5月16日時点)

5/14 テレビ静岡
 5/15 静岡第一テレビ・静岡朝日テレビ・静岡新聞
 5/16 中日新聞



テープカットの様子

大井川川尻地区河川防災ステーション

蓬萊橋897.4広場オープンセレモニーを開催

○大井川に架かる蓬萊橋(左岸)において、大井川宝来地区かわまちづくり計画に基づき島田市と国土交通省が連携して整備した「蓬萊橋897.4広場」が令和4年3月に完成。

○セレモニー当日は、地元国会議員、島田市長、中部地方整備局長はじめ多数(約50名)の関係の方々に参加いただき、和やかに執り行われました。

◇開催日
令和4年7月30日(土) 16:00~16:30

◇開催場所
大井川蓬萊橋897.4広場
(静岡県島田市南二丁目地先)

◇挨拶
島田市 染谷 絹代
中部地方整備局長 稲田 雅裕

◇来賓祝辞
衆議院議員 井林 辰憲
参議院議員 牧野 京夫

◇事業説明
静岡河川事務所長 立松 明憲

◇テープカット



染谷島田市長

蓬萊橋897.4広場の完成をもって、左岸側の整備が完了した。今年度から右岸側を整備をする計画である。

今後も蓬萊橋兩岸の魅力と拠点性を向上させ、大井川とその自然に触れる憩いの場、にぎわいの場としてご活用いただき、魅力あふれる大井川流域の更なる観光振興の呼び水となるよう大いに期待される。



稲田中部地方整備局長

蓬萊橋兩岸のかわまちづくりは、島田市と連携して進めて来た。

本日オープンした蓬萊橋左岸側の897.4広場が永続的に皆様に愛される広場になることを願っている。

蓬萊橋右岸側の完成には数年かかるが、両岸が完成した折には、にぎやかな「かわまち」になると期待される。



井林衆議院議員

ミズベリング協議会や地元の皆様方の大井川、そして蓬萊橋を本当に大切に思う気持ちが事業を前に進めることに繋がる。

今後、大井川右岸の整備も進めさせていただいて、より多くの皆様方に良かったと思っていただける蓬萊橋になることを願う。

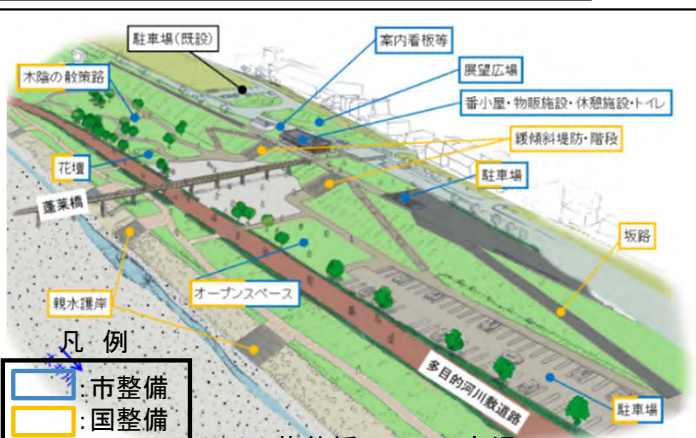


牧野参議院議員

蓬萊橋は、兩岸の皆様のご往来と、左岸側の皆様が初倉方面のお茶畑に仕事に行くなど長い期間使われてきた。

全国に蓬萊橋という名前の橋は多数存在するが、長い木の橋という蓬萊橋は、島田市だけである。

これからも全国に、そして世界に発信していただき、大勢の皆様がここに来て、この水辺を楽しんでいただきたい。



蓬萊橋897.4広場



テープカットの状況

～長島ダム管理20周年記念式典 & 森と湖に親しむ旬間2022～開催！！



開催日時: 令和4年7月30日(土) 開催内容: 20周年記念式典・ダム内部見学・湖面巡視体験

長島ダム管理所は今年で管理開始20周年を迎えたことを記念して式典を行いました。また式典後に、森林や湖に親しむことによる心身のリフレッシュを目的とした「森と湖に親しむ旬間2022」を3年ぶりに開催しました。平田カヌー場ではエコティかわね主催のカヤック体験、ふれあい館では大井川長島ダム流域連携協議会主催の物産展を開催していただきました。物産展ではジャンボ串、かき氷やそば等の屋台が出ており、大勢の方に楽しんでいただきました。

松村長島ダム管理所長からのご挨拶！

藺田川根本町長からのご挨拶！



管理20周年記念式典



管理20周年記念式典



管理20周年記念植樹



地元芸能「赤石太鼓」



ダム内部見学(しぶき橋)



ダム内部見学(コンジットゲート)



湖面巡視体験



物産展

ダム内部見学・湖面巡視体験に参加していただいた方からは、「ダムの形がカッコいい」、「しぶき橋から虹が見えてキレイだった」等の感想をいただきました。35

「ダム」の駅」長島ダムふれあい館20周年記念式典を開催しました！

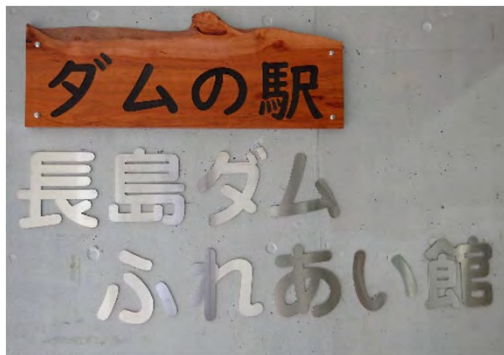


20年目の長島ダムふれあい館

今年、長島ダムの広報施設として平成14年に開館した長島ダムふれあい館が20周年を迎えたことから、令和4年9月21日、記念式典を開催しました。長島ダムふれあい館はこの20年、長島ダムの役割や地域の情報を発信する施設として、毎年2万人近い方々にご来館いただきました。また、20周年を機に、さらに魅力ある施設として、長島ダムふれあい館は中部初「ダム」の駅」を冠してリニューアルしました。

式典では、藪田川根本町長が「長島ダムを活用し地域の賑わい作りをすべく、長島ダムの役割を子供たちにもっと学んでもらうなど、今後さらにふれあい館を拠点に「ダム発信」をお願いしたい」などと挨拶されました。その後、「ダム」の駅」リニューアルを祝し、「ダム」の駅」看板の除幕式を行いました。

また、式典とイベントの内容については、地元新聞にも大きく掲載されました。



新たに設置した「ダム」の駅」看板



式典の様子



「ダム」の駅」除幕式



松村管理所長



藪田川根本町長

主催：国土交通省長島ダム管理所、川根本町
後援：（一財）日本ダム協会
出席者：川根本町長 藪田 靖邦
（一財）日本ダム協会 技術参与 楠見 正之
長島ダムふれあい館 館長 後藤 廣美
長島ダム管理所長 松村 昭洋

「ダム駅」長島ダムふれあい館20周年記念式典を開催しました！

ふれあい館では現在、20周年記念イベントを開催しております。

(1) 全国ダムカード展（開催期間：令和5年9月20日まで）

（一財）日本ダム協会ダムマイスター町田輝次氏、（一財）日本ダム協会ほか、企業、個人から貸与・寄付いただいたダムカード500枚以上を展示しています。離島のダムカードなど、レアなものも多数ありますので、興味のある方はぜひご来館ください。



全国ダムカード展

(4) ダムカード・クラウドファンディング

全国ダムカード展の展示期間終了後も、ふれあい館でのダムカード展示を継続・充実すべく、ダムカードの寄付を募っています。

(5) 長島ダム20周年記念カードの配布

長島ダム管理20周年記念で作成した記念カードを配布しております。

(2) 「月刊ダム日本」記念号の展示

（一財）日本ダム協会協力のもと、1960年5月創刊号から記念号及び最新号を展示しています。日本のダム62年の歴史を振り返ることができます。

(3) ダムコーヒーの紹介・全国のダムコーヒー認定書の展示

ダムコーヒー認定制度は、日本ダムコーヒー協会が令和4年6月から運用を開始したもので、これまでに全国で9か所認定されています。長島ダムは、今年7月、静岡県ダムコーヒー発祥の地として「聖地」認定されました。



ダムコーヒー認定書の展示



「月刊ダム日本」の展示

#ダム際
ワーキング

ふれあい館では、リモートワーク、ワーケーションの一つとして、ダムを見ながら自然の中で仕事ができる、「ダム際ワーキング」のスペースがあり、無料で利用できます。フリーWi-Fiも完備！



5. 今後の進め方について

大井川水系流域委員会 今後のスケジュール

- 河川整備計画内容の点検の実施は、毎年審議
- 事業の再評価の審議は、5年以内に1度の審議、事後評価の審議は、完成後5年以内の審議
- 「気候変動を踏まえた治水計画のあり方」提言（令和3年4月30日改訂）に基づき、今後は河川整備基本方針、河川整備計画の見直しを行う。

